様　式　Ｚ－７

平成２５年度科学研究費助成事業　実績報告書（研究実績報告書）

1. 機関番号　3 2 6 0 4　　2. 研究機関名　大妻女子大学

3. 研究種目名　基盤研究(B)　　4. 研究期間　平成２５年度～平成２７年度

5. 課題番号　2 5 2 8 4 1 3 5

6. 研究課題名　戦時上海におけるメディア（新聞・雑誌）の総合的研究

7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
5 0 3 1 6 9 0 7	イシカワ　テルコ 石川　照子	比較文化学部	教授

8. 研究分担者

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名
9 0 1 5 4 7 9 9	タカツナ　ヒロフミ 高綱　博文	日本大学・通信教育部	教授
6 0 2 2 3 9 2 1	オオハシ　タケヒコ 大橋　毅彦	関西学院大学・文学部	教授
0 0 2 9 8 0 4 3	スズキ　マサヒサ 鈴木　将久	一橋大学・言語社会研究科	教授
3 0 3 7 5 3 1 5	シヨウ　ゲイケン 邵　迎建	徳島大学・大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部	教授
1 0 3 0 4 5 6 0	コハマ　マサコ 小浜　正子	日本大学・文理学部	教授

9. 研究実績の概要

１．関連史料の所蔵状況に関する調査及び収集・・・研究代表者と分担者それぞれの個別の史料調査以外に、戦時上海の文化・文学活動を研究している、関西の中日文化協会研究会との合同史料調査を行った（2013年８月下旬～９月上旬には杭州・上海・南京での合同調査、2014年３月中旬から下旬には上海・南京合同調査を実施した）。その結果、史料の所蔵状況を具体的に把握することができ、また新史料の発見もあった。さらに、2013年12月20～27日には北京に出張し、当該時期の新聞のマイクロフィルム史料を購入した。　２．研究会・ワークショップの開催・共催・・・2013年５月6日、８月３日、10月26日に、それぞれ例会を開催した。また、８月31日には上海で、「近代上海における日本文化を考える」、1月12日は関西で、「戦時上海のグレーゾーンと文化的ポリティクス―中日文化協会上海分会と日中合作映画の考察を通して―」と題するワークショップを、中日文化協会研究会と合同で開催した。2013年４月28日には、中日文化協会研究会例会に参加した。
３．ホームページの構築作業・・・国内外で調査・収集した史料をホームページに掲載することを目指して、ホームページの構築作業を年度初めから開始し、現在もその作業は継続進行している。

10. キーワード

(1) 上海　(2) メディア　(3) 日中戦争　(4)

(5)　(6)　(7)　(8)